



昨年8月から江府町に新たに着任した2名の地域おこし協力隊員。今年もあっという間に1月が過ぎ、気が付けば2月。寒さに負けず突き進んでいく、江府町の地域おこし協力隊員の活動を今月号も報告します。

今月号のテーマ
「今年も全力！！」

農業部門（活動内容：農事組合法人宮市での商品開発など）



にしじま としあき
西嶋 俊明

今年のお正月は川崎の自宅でゆっくりさせていただきました。

紅白歌合戦はトッスバッター、Foorinの「パプリカ」あたりで眠くなって寝床へ、歌合戦が終わったところ目が覚めて、近くの神社で年越しのお宮参りをして二度寝。そして早朝、自転車で多摩川河岸までひとつ走り。初日の出が見られました。ちょうど1歳になった孫とも遊んでやる事ができて、私にとって大変有意義な正月になりました。

今回の帰省に際して、新型コロナウイルスのこともありましたので、細心の注意を払って移動し、帰宅後も自宅待機で対策を図りました。

今年も引き続き、新型コロナウイルスへの対応等で激動の年になりますが、希望を持って突き進んでいきたいと思えます。



▲孫との2ショット



▲多摩川河岸の初日の出の様子

ふるさと教育（活動内容：日野郡公設塾まなびや「縁側」での塾講師）



あべ まさき
阿部 将樹

昨年8月に、地域おこし協力隊に赴任して、早くも半年が経過しました。気温も少しずつ上がってきており、日に日に春の訪れを感じます。

先月は大学入学共通テストも実施され、一般入試の高校3年生にとっては、まさにラストスパートの月でした。例年のセンター試験よりも難化した、との声のある大学入学共通テスト。私自身も解いてみたのですが、「知識」や「理解」よりも「応用」や「思考力」を問われるような内容だと感じました。インターネットに問題や解答が掲載されていますので、お手隙の方はぜひ解いてみてはいかがでしょうか。

また、現高校2年生も新年に入り、進路実現に向けて本格始動を始めました。これまではあまりモチベーションの高くなかった生徒も、小論文対策に対し積極的に取り組むようになりました。今年度卒業の先輩に続き、志望の進路実現に向けて全力でサポートします。

今月末には、年度末の定期考査があります。2020年度最後の定期考査。良い成績で終われるよう、生徒とともに頑張っていきます。



▲志望の進路実現に向けてやるきアツス！